



【戦評シート】

平成23年8月10日(水)	協会名：秋田県バスケットボール協会	
場所：琴丘総合体育館(Aコート)	記入者：小松 和典 佐々木雄二	
チームA 金井 56 (山形1位)	8 - 18 9 - 22 19 - 10 20 - 14	チームB 津軽 (青森1位)

スターター	チームA： #4, #5, #7, #10, #12
	チームB： #4, #5, #6, #7, #8
ディフェンス (試合開始時)	チームA： <input checked="" type="checkbox"/> マンツーマン <input type="checkbox"/> ゾーン () <input type="checkbox"/> その他 () チームB： <input type="checkbox"/> マンツーマン <input checked="" type="checkbox"/> ゾーン (ボックスワン) <input type="checkbox"/> その他 ()

男子決勝は、2年連続決勝戦に進出した津軽と、東北大会初優勝を狙う金井の対戦となった。

第1ピリオド、金井のマンツーマンに対して、津軽はボックスワン。金井#5 大戸の動きを封じにかかる。序盤津軽は積極的にアウトサイドのシュートを狙い得点を重ねる。残り3分2秒、津軽の4連続ゴールが決まったところで金井のチャージタイムアウト。金井は、#4 前田の3P や#12 吉田のジャンプシュートなどで応戦するが、オフェンスのリズムをつかむことができず、津軽 18-8 金井で第1ピリオドを終了した。

第2ピリオド、なんとか流れをつかみたい金井は#10 佐藤のジャンプシュートや#7 會田の3P で得点するものの、残り4分53秒で津軽 27-10 金井となったところで前半2回目のチャージタイムアウト。さらに、#16 渡部を投入し、オフェンスを組み立てようとするが、苦しい展開が続く。一方勢いに乗った津軽は、粘り強いディフェンスから速攻で得点を狙い、#4 齊藤、#7 大高の3P も加えて着実に得点を伸ばし、津軽 40-17 金井と大きなリードを奪って前半を折り返した。

第3ピリオド、金井は津軽のドライブに対して早めのヘルプディフェンスで対応する。津軽のシュートが落ち始めたところで#16 渡部、#4 前田がリバウンドを確実にマイボールにして速攻を狙う。#12 吉田のジャンプシュート、#4 前田の速攻や3P で詰め寄る。津軽は#5 田山の連続3Pなどで引き離しにかかる。残り3分、金井のチャージタイムアウト後、金井#4 前田の連続ゴールなどでさらに追い上げ、津軽 50-36 金井として第3ピリオドを終了した。

第4ピリオド、津軽はディフェンスを2-1-2ゾーンプレスに切り替える。それに対して落ち着いてボール運びをした金井は、#4 前田、#7 會田の3P や#9 武田の速攻で残り4分21秒には津軽 54-47 金井となる。この試合初めてのチャージタイムアウトをとった津軽は、ゾーンプレスを2-2-1に切り替えてリードを広げようとする。残り3分で金井は#5 大戸のジャンプシュートが決まり、5点差まで詰め寄る。しかし、津軽は#4 齊藤の3P と#6 木嶋の速攻で得点し、逆転を許さない。その後も津軽はディフェンスからの速攻で得点し、#5 田山、#6 木嶋のバスケットボールカウントなどでリードを広げ、最後まで追いつがる金井を津軽 64-56 金井で振り切って勝利。東北大会5年ぶり5回目の優勝を飾った。

注意：文面には試合内容のみご記入下さい。